

3. 研修事業の本格的始動

(2) 生命保険専門セミナー(OLIS-SE: Oriental Life Insurance Seminar for Senior Executives)の開催(1980年-1987年)

生命保険専門セミナーの開催

OLIS セミナーは、日本の生命保険事業の実状ならびに協栄生命の経営、管理全般にわたる紹介とそれらについて討議するために、当財団が独自に立案し開発したセミナーであった。昭和48年(1973年)度の発足以降、当セミナーの参加者も多数となり、またアジア諸国の生命保険会社、再保険会社および監督官庁からの評価も高く、アジア生命保険業界の専門教育機関としての当財団の基盤もできてきていた。このような段階において昭和55年(1980年)に至り、役員および上級管理者を対象とした生命保険専門セミナー(OLIS-SE: Oriental Life Insurance Seminar for Senior Executives)を新研修セミナーとして実施することとなった。

OLIS-SE セミナー(1987年)



OLIS-SE セミナーは OLIS セミナーとは異なる性格を有し、経営的な立場にある役員および上級管理者(担当部長以上)を対象として、特定の経営部門について経営的な立場にある者が講師となって説明と討議を展開することにより、参加者が一層の経営理念と連帯感を身につけ、生命保険事業経営に貢献していくことを目的としたものであった。当セミナーは、昭和55年(1980年)11月に第1回セミナー(10日間)の開催を皮切りに、以後昭和62年(1987年)度まで夏期、冬期の年2回定期的実施し、アジア諸国の生命保険業界とその関係機関から、当財団の実施する事業に深い理解と高い評価が寄せられた。



OLIS-SE セミナーの講師は協栄生命の現役の部長以上が担当し各テーマの講義を行い、講義終了後には3時間程度の討議を織り込み、OLIS セミナーと同様の形式で運営された(前述)。OLIS-SE の講義内容は、毎年特定のテーマを定めて、テーマによって異なった講師によって行われた。このほか研修日程の中には、観光旅行や懇親会などのプログラムをあらかじめ組み込み、相互の親睦と交流を図っていた。また参加者に対して宿泊施設を提供し、滞在期間中の宿泊や食事に対する経費を当財団が負担した点は OLIS セミナーと同様であった。

生命保険専門セミナー(OLIS-SE)の開催

年度	回数	時期／テーマ	期間	参加国数	参加者数
昭和 55 年 (1980 年)	1	冬/営業	10 日間	2 カ国	12 名
昭和 56 年 (1981 年)	2	夏冬/営業	各 10 日間	6 カ国	26 名
昭和 57 年 (1982 年)	2	夏冬/内務管理	10, 11 日間	7 カ国	34 名
昭和 58 年 (1983 年)	2	夏冬/電算化	10, 11 日間	6 カ国	23 名
昭和 59 年 (1984 年)	2	夏冬/営業・営業教育	各 10 日間	7 カ国	35 名
昭和 60 年 (1985 年)	2	夏冬/内務管理	各 10 日間	6 カ国	22 名
昭和 61 年 (1986 年)	2	夏冬/営業・営業教育	各 10 日間	7 カ国	28 名
昭和 62 年 (1987 年)	2	夏冬/内務管理	各 10 日間	6 カ国	25 名